

腫岐義等 このまの 労働科學・産業醫學者、醫學博士。明治二十一年九月三日兵庫生れ、昭和四十一年十一月七日歿（八八九―一九六六）。大正六年東京帝國大學醫科大學卒。生理學教室で永井澄の學ぶ。警視廳技師として細民街を調査。八年大原社會問題研究所に入り、倉敷労働科學研究所、日本労働科學研究所へ改編する間、紡績女子、労働者、農民等の生活と栄養調査に當る。戦時下、研究所は産業報國會の組織となり、同會理事に就任、また大政翼賛會國民運動局長を務めた。戦後、労働科學研究所を再建。

著書の「社會衛生學」（昭和十年）二月十五日岩波書店「岩波全書」、
「勤勞と文化」（昭和十六年十一月十五日科學主義工業社）、
「賃金算定の關する労働科學的解題」（編、昭和十八年十月）二十日大阪屋號
書店「労働科學叢書」（）、
「最低生活費の研究」（編、昭和十八年十一月十五日大阪屋號書店「労働科學叢書」（）等。譯書の「ハーヴェイ著「血液循環の原理」（昭和十一年十月十五日岩波書店「岩波文庫」）、
「ハーヴェイ著「動物の心臓ならびに血液の運動に關する解剖學的研究」（昭和二十六年十月十八日岩波書店「岩波文庫」）等。

